

2020年4月6日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社
セカンドゲノム社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年4月6日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズとセカンドゲノム社 バイオマーカーおよび炎症性大腸炎薬の開発で 戦略的提携に合意

—複数品目、複数年契約でマイクロバイオームの最新の知見を活用—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）とセカンドゲノム社（本社：米カリフォルニア州サウスサンフランシスコ、以下「セカンドゲノム」）は4月6日、4年間の戦略的提携に合意したと発表しました。セカンドゲノムはマイクロバイオーム（微生物叢）研究の最先端企業です。両社は共同で、炎症性疾患、線維症、その他の疾患の治療を対象とするギリアドの新薬候補物質のうち臨床反応で最大5品目のバイオマーカーの同定、ならびに炎症性大腸炎（IBD）治療の新規治療標的や治療薬候補の同定に取り組めます。

この合意に基づき、セカンドゲノムは自社で登録商標を持つ「マイクロバイオーム・アナリティクス・プラットフォーム」を活用し、ギリアドの治療薬に対する臨床反応に関与する新たなバイオマーカーを探索します。マイクロバイオーム研究における最新の知見を用いるこの取り組みは、患者さんの層別化や、今後の治療法の最適化に貢献するものです。本プラットフォームに創薬および開発のツールを組み合わせ、IBDに関連する新規治療標的および治療薬候補の同定にも注力します。今回の提携では、今後4年間にIBDの新規治療標的または治療薬候補を最大5品目同定することを目標とし、提携を2年間延長するオプションが付されています。

ギリアドの研究部門エグゼクティブ・バイスプレジデントのウィリアム・リー（William Lee, PhD）は、「マイクロバイオームが炎症性疾患の増悪と治療反応に重要な役割を果たすことを示すエビデンスが増えています。炎症性疾患、特に従来の治療法では患者さんが長期寛解を得ることが非常に難しいIBDという疾患で、マイクロバイオームがどのように関与するのか、セカンドゲノムと共同で研究できることを楽しみにしています。当社の専門性とセカンドゲノムの革新性・知見が結束するこの提携は、炎症性疾患研究を進めるギリアドのたゆみない熱意を示す最新の事例であり、患者さんの転帰を改善する画期的な治療法の開発を両社で推進していき

ます。」と述べています。

セカンドゲノムの CEO であるカリム・ダバッシュ (Karim Dabbagh, PhD) は、「セカンドゲノムのプラットフォームとは、マイクロバイームを用いて疾患を再検証するものです。バイオマーカーや治療薬になり得る物質を、マイクロバイームという素晴らしい資源を活用して同定するのです。患者さん一人ひとりの違いを見極め、個々の治療に対する反応を知る手がかりが、マイクロバイームによって得られると確信しています。患者さんそれぞれの違いが分かれば、患者さんの特性に応じたより適切な精密医療と併用療法を促進する、重要なバイオマーカーの同定につながります。ギリアドと協力し、このアプローチを通じて IBD 治療における新規バイオマーカー、さらには治療標的や治療薬の候補を見出し、患者さんの転帰の改善に貢献できることに、大きな喜びを感じています。」と述べています。

セカンドゲノムには前払い資金として 3,800 万ドルが支払われ、その後、5 つの開発対象品目のそれぞれについて、非臨床、臨床、薬事承認、製品化といった成果に応じ、最大約 3 億ドルの成功報酬が支払われます。製品が承認された場合は、販売額に応じたロイヤリティ (2 桁台前半) が支払われます。さらに、今回の提携で得られた有効な各バイオマーカーに対しても成功報酬が支払われます。

ギリアドはオプションとして、全疾患の治療を目的とする最大 5 品目の全世界での権利、ならびに今回の提携で開発された全バイオマーカーの独占権を有します。

セカンドゲノム社について

セカンドゲノム社は、ヒトマイクロバイームに関する知識と分析力を活用し、バイオマーカー、生物学的経路、治療標的、治療薬を開発しています。マイクロバイームに基づく自社の包括的な創薬エンジンを活用し、がん、消化器疾患、その他の炎症性疾患、代謝疾患などの多種多様な疾患に対してマイクロバイームが及ぼす作用によって生じる、微生物由来のタンパク質治療薬および生物学的標的の探索・開発を行います。開発中のパイプラインには、非臨床段階の IBD およびがんの治療薬があり、先行する IBD 治療薬の SG-2-0776 については、2021 年に臨床開発段階に入る予定です。詳細はセカンドゲノム社ウェブサイト (www.secondgenome.com) をご参照ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオフィーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 カ国以上で事業を行っています。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) で定義される「将来予測に関する記述」に該当するものが含まれており、両社が今回の提携で期待される便益をもたらすことができないリスクを含め、いくつかのリスク、不確定要素、その他の要因により影響を受けることがあります。過去の事実以外のすべての記述は、将来予想に関する記述とみなすことができます。これらのリスクや不確定要素、そ

の他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2019年12月31日を年度末とするギリアド年次報告書（フォーム 10-K）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###